

項目	若者・女性、交流、子ども・教育	地域 地区	山南 上久下
----	-----------------	----------	-----------

☆活動名：一発花火

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

故郷に錦を飾る。故郷を出ていた人が、立身出世して晴れがましく故郷に帰り、故郷のために何か力になることはとても素晴らしいことなのだけれど、故郷にいながら故郷のために同様に尽力する人がたくさんいることを知っている。

「織錦在郷（しょくきんざいごう）」という言葉があります。

故郷に居ながら故郷で錦を織り続ける。自分のためにではなく、高齢になっても今も現役で頑張っている親世代（先輩）や次世代の子どもたちのために、恩返しや恩送りするために。

ともに遊びともに学びそしてともに地域を創っていきたいと思う仲間が集う場所。「塾」のように教え教えられる関係でなく、ともに成長できる対等な関係、それぞれの居場所の意味を込めた「宿」（じゅく）を結成した。

★事業の効果は何ですか？

「一発花火」 例えばこの活動、夏祭りに何千発の花火を打ち上げても話題にならない。冬にできたとしても継続させる力がない。丹波の山奥でイベントも何もないのにクリスマスの頃に花火が一発だけ打ちあがる。現地に行っても誰もいない。あれは何だろう？そういう遊び心で始めた小さな花火大会。アイデア次第で大きな地域の大きな企画に勝るものになることを体感し、その結果、地域の多くの人たちに伝わった。これ以外にも独自事業を行いながら、自治協議会と協力して地域で継続してきた文化祭の再編（小学校と地域と家庭のコラボ）に関わったり、夏の納涼コンサートの企画に携わったりしています。



★ここがポイント！！

事業をするたびに赤字を重ねながら、できるだけ補助金に頼らず企画し、とにかくオトナが楽しんでる姿を子どもに見せることを大切に活動しています。

連絡先 他	かみくげ宿 代表 土田 正博 Facebook: 「かみくげ宿（じゅく）」 https://ja-jp.facebook.com/kamikugejuku2017/ Blog: https://ameblo.jp/kamikugejuku/
-------	---

項目	地域福祉、交流	地域	山南・柏原
----	---------	----	-------

☆活動名：認知症カフェ「だんない」 ※だんない…丹波弁で大丈夫、構わないよ

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

「母親のような認知症の人たちが主人公として参加できる場所を作りたい」、「認知症の人に出会う機会になれば」と実行委員会（山南地域の自治協議会長や丹波市南部地域包括支援センターなど）が企画した。

- ・認知症だということで、活動範囲に制限を付けない。
- ・一人ひとりの尊厳を守り、生きがいを感じてもらう。

★事業の効果は何ですか？

企画者の熱い思いは当初、そのまま対象者やその家族には伝わりにくいものでした。現に、主役としてカフェに参加することを拒否する家族が多く苦労しましたが、いったん自信がつくと表情が明るくなり、言葉に力が満ちることがよくわかりました。

参加者は、「緊張したけど、いつもよりたくさんおしゃべりできて楽しかった」と満足そうだった。



★ここがポイント！！

公共の建物を利用せず、普段営業をしているカフェや食事処を利用していることと、スタッフも事業所を背負っての関わりではなく、あくまでも個人で関わることを大切にしています。

★お知らせ

今後市内全域での展開を考えています。



連絡先 他	代表：注文をまちがえる喫茶店 in 丹波 企画実行委員会 連絡先：丹波市南部地域包括支援センター（山本・堂岡） TEL：0795-78-9123
-------	--

項目	子ども・教育、地域福祉、若者・女性、交流、移住定住、自然・環境	地域	山南
----	---------------------------------	----	----

★活動名：里山ようちえん 丹のたね ふえっこ

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

阪神間在住時代に幼児教育に関わっていた経験があり、移住を機に笛路の景色の中で未就学児童を対象に活動を開始しました。

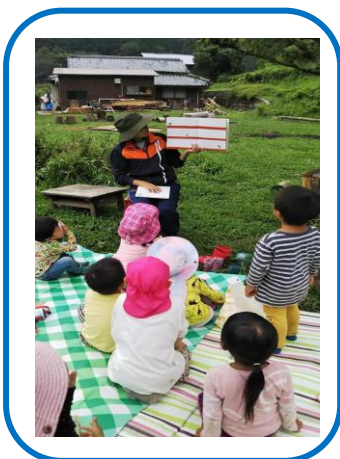


★事業の効果は何ですか？

週に一度の活動でしたが、今年度からは平日すべて幼稚園にしましたことから、子どもと一緒に過ごすお母さん方の強い味方となっています。

★ここがポイント！！

丹波の大自然の中で、子どもたちに天候や四季折々の経験をさせます。里山で遊ぶ子どもたちと一緒に過ごすお母さんに養われる見守る力や、四季を通じて自然が教えてくれるたくさん大切なことが溢れています。



連絡先 他	代表：竹岡 郁子 TEL：080-8537-0541 HP 等： https://takeokafarm.com/fuecco/
-------	--

項目	女性・若者、子ども・教育、交流	地域 地区	山南 和田
<p>☆活動名：里山整備活動 坂尻里山つくろう会</p> <p>★事業を始めたきっかけ、ねらいは？ 自由に使える山があるところから、子どもを遊ばせる場所をつくろうと村の中の子育て世代のお母さんたちが集まって整備活動が始まりました。</p> <p>★事業効果は？ 整備活動を通して、地域のお年寄りから自然の法則やおばあちゃんの知恵袋を聞くなどの交流が生まれたこと、市内外の子育て世代の家族との情報交換はもとより、子どもたちがのびのびと走り回る姿をみることができていると思います。</p> <p>★ここがポイント！！ 年に一度、整備した山の中で音楽会を開催して、様々な交流を行っています。</p> <div data-bbox="927 506 1331 871" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="906 1032 1310 1373" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="300 1234 703 1697" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="791 1406 1265 1704" data-label="Image"> </div>			
連絡先 他	坂尻里山つくろう会 代表 瀧 加奈子 TEL：090-5048-9889 Facebook：「Japan TAMBA BRANDO 坂尻里山つくろう会」		

項目	地域福祉、子ども・教育	地区	山南、春日、市島
----	-------------	----	----------

☆活動名：子ども食堂 どんぐり食堂

★事業を始めたきっかけ、ねらいは？

大人も子どもも誰でも集まれる場所をつくり、みんなでご飯を食べたり遊んだり、おしゃべりしたり、家庭と地域が繋がって、みんなで子どもを見守ります。



★事業の効果は何ですか？

丹波ではなかなか定着していくのが大変だと思っていましたが、材料や場所の提供、協賛などをいただき、みなさんのおかげで毎回大勢の方にご利用いただけるようになってきています。

★ここがポイント！！

市内移動型の食堂です。月一回のペースで、山南、春日、市島を回り、食堂だけでなくワークショップも開催します。居心地の良い場所を目指しています。



連絡先 他	代表 足立 美樹 TEL：090-2013-9153 Facebook：「丹波どんぐり食堂」
-------	--